

ストップ! 衆議院比例定数削減



4.27 学習・懇談のつどい

「国会議員を減らせばいい」という声もありますが…
国民の声が国会に届かなくなるのでは…

多様な意見対峙! 消費税増税・平利憲法改憲!

多様な意見をますます切り捨て

民主党 4割の得票で議席の7割

2009年の総選挙で公明党、共産党、社民党、みんなの党、国民新党、新党日本の6つの政党は、あわせて30%の得票で議席占有率は9.6%、46議席。民主党の提案している比例定数80削減が実施されれば、25議席に減り、30%の得票でたった6.25%に。一方、民主党は42%の得票で68%を占めます。「死票」一層ふやし多様な民意がさらに切り捨てられる仕組みになります。

「死票」を生まない制度こそ必要

民主主義とは国民の声を切り捨てないこと。

日本国憲法では、国会を通して、国民の多様な意思を忠実に反映しているものでなければなりません。いまの選挙制度は小選挙区制によって、「死票」をたくさん生み、多様な意見を切り捨てるものになっています。いまや世界は多様な意見を汲み取ることのできる比例代表制が中心となっています。「国民主権」を守り抜くためには、国会議員の数を削減するのではなく、多様な民意を公平・公正に反映する選挙制度に改正すべきです。

とき

2011年

内容

■講演

4月27日 水

午後6時30分～

今なぜ、比例定数削減か

—ないがしろにされる民意—

ところ

区立生活産業プラザ
・多目的ホール

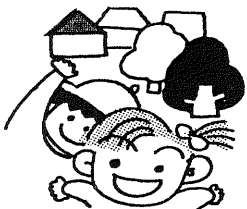


菊池 紘さん

(自由法曹団団長
・城北法律事務所)

■意見交換、懇談

■事務局からのお願い



平和とくらしを守る豊島区大運動実行委員会 豊島九条の会

豊島区南池袋 2-6-8 豊島区労協 電話 03-3988-7091 豊島区要町 3-13-1-405 田口 気付
豊島区西池袋 5-22-15 東京土建豊島支部 電話 03-3986-2471 電話 03-6328-9998